



赤い羽根共同募金に寄せられた募金は、じぶんの町

を良くする活動（地域福祉活動）を支援するために活用されていますが、東日本大震災による被害が大きい沿岸8市町村では募金運動の展開が難しいため、活動を支援する資金が不足しています。

岩手県共同募金会では、これら沿岸8市町村で行われる地域福祉活動を応援するため、平成26年1

沿岸8市町村の 地域福祉活動を応援

募金期間 ● 平成26年1月1日～3月31日

募金目標額 2,420万円

自分たちで畑作り

復興に向けて前向きになるよう支援



宮古市社会福祉協議会

●目標額 150万円

大震災でこれまでの居場所や仕事をなくしてしまった方が、今も多くいます。作物を育てる喜びや楽しみ、生活の潤い、生きがいづくり、人ととのコミュニケーションづくりを通して、誰もが復興に向けて前向きになるよう支援します。

たまには、かえっぺし大船渡

避難者と故郷の「絆」をつなぐきっかけに



大船渡市社会福祉協議会

●目標額 380万円

市外へ避難後、大船渡市に戻る機会がない方がたくさんいます。でも決して故郷を忘れないはずです。故郷、大船渡市で避難者と地元住民の交流を図り、「元気」になってもらい、内陸での生活に支障が出ないよう支援します。

見守りネットワーク強化事業

住民同士が支え合うまちづくりを



釜石市社会福祉協議会

●目標額 150万円

復興に見通しが立たない現状から、個人によって不安の度合いが様々で、複雑化しています。仮設住宅・みなし仮設住宅等でのサロン活動を通じて、被災者のニーズを把握し、個別の見守りを全力で支援します。

オレたち自慢の基地をつくりたい

住民自ら作るいこいのスペース



山田町社会福祉協議会

●目標額 80万円

男性の中には、お茶会等に参加しても楽しめない、出るのが億劫、仮設住宅では日曜大工の作業ができる場所がなくて困っている人がいます。男の居場所づくりを通して、男同士のコミュニケーション、心身の健康維持、地域防犯活動を積極的に進めます。

三鉄で結ぶ和～お座敷列車deサロン～

住民交流で人のつながりを再構築



田野畠村社会福祉協議会

●目標額 80万円

元々は同じ地区、地域に住んでいた住民が、被災により分散してしまい、交流する場や機会が少なくなっています。三陸鉄道田野畠駅・島越駅の復活に合わせて住民交流を行い、住民同士のつながりを再構築する起爆剤になります。

町内会のための地域活動推進助成金

住民同士のつながりを強め地域活性化を目指す



陸前高田市社会福祉協議会

●目標額 1,280万円

大震災で、多くの町内会が失われました。以前の町内会がなくなり新しい町内会を組織したものの、町内会には予算が不足し、今も地域行事ができない住民同士の交流が図れない状態にあります。住民のために地域行事が開催できるよう助成事業を実施します。

大槌祭りで会いましょう

避難者と故郷の「絆」をつなぐきっかけに



大槌町社会福祉協議会

●目標額 250万円

避難者は故郷への思いを募らせ、焦り、迷いを抱きながら帰るきっかけを待っています。老若男女が参加する年1回の大槌祭りをきっかけに、故郷で出会い、話す中で「やっぱり大槌いいな」と思って欲しいのです。

つながる結っこのだサロン

コミュニティを人のつながりで元気にしたい



野田村社会福祉協議会

●目標額 50万円

「新しい場所に家を再建したけど、ご近所さんとつながるきっかけが欲しい」「仮設住宅の空き部屋が増えてきたけどサロンは続けていくよね」。こうした「サロンが必要」という住民の声に応え、新たな住民のつながりを支援します。

被災地を応援する 「寄付金付き商品」と 「からくり機能付き募金箱」

寄付金付きボールペン「しまもぐくん」

岩手県立大学・しまもぐくん・ゼブラ・
県共募(協力:平金商店)がコラボ

売上の一部を寄付金として贈ろうと岩手県立大学学生約20人が企画制作したオリジナルボールペンは、文具メーカーの株式会社ゼブラや盛岡市の株式会社平金商店が協力。図柄は「ビッグダディ」がデザインしました。

同大学社会福祉学部3年の三谷千夏さんは「購入により被災地活動の支援ができます。学内の売店を中心に販路を拡げ、息の長い活動にしたい」と意欲を見せています。同商品は県共募の寄付金付き商品第1号となります。



からくり機能付き募金箱

大船渡東高校機械科・岩手大学工学部

岩手県立大船渡東高等学校機械科の3年生8人は、こどもや若者が楽しく募金できる「からくり機能付き募金箱」を2台製作しました。

「愛が満ちていく」は投入した硬貨がいっぱいになるとハート型になる楽しい募金箱。もう1つは、硬貨を投入するとセンサーが始動して「ニャオン」と猫の鳴き声がする募金箱です。

同校3年の伊藤瑞輝君は「地元に少しでも笑顔が増えることを願いながら、みんなで知恵を出しあって製作しました」と笑顔。

岩手大学の学生有志は、ついつい何度も募金したくなる募金箱を3台製作しました。「つながる海」は投入した硬貨が青い玉になり、ウニやホタテたちが手渡しして海底まで運ぶもの。6つのモニターをマイコン制御した力作です。また、電源を使わずに置き場所を選ばない「ぽきんばこん」は、投入した硬貨が転がり、自動的にサイズを分けてくれます。



「赤い羽根3・11いわて沿岸地域応援募金」4つの特徴

① 募金の期間拡大

通常の赤い羽根共同募金は10月から12月までの3か月間ですが、国の承認を得て1月から3月まで募金活動を行います。

③ 募金の使いみち

これから沿岸8市町村の住民に必要とされる8つの事業に使われます。

② 募金の集め方

通常の募金活動は戸別募金を中心に法人・職域・街頭募金を併せて行います。今回は県内県外の企業へのダイレクトメール送付、イベント募金、飲食店等への募金箱の設置などで募金活動を開展します。

④ 応援募金プロジェクト

応援募金を進めるにあたってはプロジェクトチームを立ち上げ、県内3つの商工関係団体、企業の代表者、大学・学生、NPO団体など23団体総勢27名で構成されています。

【募金への協力方法】

- 職員・会員有志の方々からの募金(職員募金)、または法人からの募金(法人募金)としてご協力ををお願いします。なお、甚だ勝手ではございますが、法人募金としてご協力いただければ幸いです。
- お近くのゆうちょ銀行・郵便局での振り込みをお願いします。(振込料金無料)

振替口座 02380-6-2020

社会福祉法人岩手県共同募金会

※通信欄に3.11募金と記載をお願いします。

- 他の金融機関からお振り込みいただく場合は、次の口座にお願いします。誠に恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いします。

ゆうちょ銀行 二三九店

当座預金 №0002020

社会福祉法人岩手県共同募金会

【税制上の優遇措置】

共同募金会への寄付は、税制上の優遇措置があります。

- 会社など法人のご寄付は、損金算入することができます。
- 2,000円を超える個人のご寄付は、所得税の寄付金控除を受けることができます。

【助成決定について】

- 本募金プロジェクト会議において、寄せられた募金総額に基づき各事業実施団体への助成額を決定します。
- 寄せられた募金の一部は、本募金運動実施のための事務経費として使わせていただきます。

プロジェクト会議構成団体(順不同)

岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、ラ・ドルチェ・ヴィータ、株式会社盛岡クラブ・チェンジ、株式会社ウイローズ、いわて三陸復興食堂、株式会社エフエム岩手、岩手県立大学社会福祉学部、岩手県立大学学生ボランティアセンター、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、岩手県社会福祉協議会、岩手県保健福祉部、宮古市共同募金委員会、大船渡市共同募金委員会、陸前高田市共同募金委員会、釜石市共同募金委員会、大槌町共同募金委員会、山田町共同募金委員会、田野畠村共同募金委員会、野田村共同募金委員会、盛岡市共同募金委員会、北上市共同募金委員会

講義

職場の問題解決 リアリティショックへの対応

平成25年度
新任保育士研修会
(就業継続支援)



盛岡大学准教授
盛岡大学附属
松園幼稚園園長
石川 悟司氏



新任保育士の資質向上を図る

全国的に待機児童の解消が叫ばれ、保育ニーズは高まっている一方で、保育士の入材確保が困難になっています。

岩手県社会福祉協議会福祉人材センターに昨年11月1日に設置された「岩手県保育士・保育所支援センター」では、専任コーディネーターが求

人側の保育所(園)と、求職者(潜在保育士)双方の相談・就労支援に応じています。また「児童福祉研修事業」(保育士)では、養成学校生徒、新任保育士、潜在保育士を対象に研修会を開催し、再就職の支援や人材の資質向上を図っています。

平成25年度新任保育士(就労継続支援)研修会(平成26年1月14日～15日、会場は岩手県高校教育会館)には、概ね3年以内の新任保育士約70人が参加。職場の問題解決の対応、職員としての自覚、保育士として好ましい接遇などを講義や演習を通して学びました。うち、講義「職場の問題解決、リアリティショックへの対応」の概要をお伝えします。

ショックを意味あるものに

皆さんは子どもの育ちに関わることが好きで、保育の道に進まれた方々です。保育実践の現場には様々

- 1月14日
[講義]保育所(園)職員としての自覚
●講師:社会福祉法人江刺保育園園長 遠藤 清賢 氏
[演習]事例研究
●講師:紫波町立佐比内保育所所長 藤沼真紀子 氏
■1月15日
[講義]職場の問題解決、リアリティショックへの対応
●講師:盛岡大学准教授、盛岡大学附属松園幼稚園園長 石川 悟司 氏
[講義]保育士としての好ましい接遇
●講師:中村夢美子話すから事務所 代表 中村夢美子 氏

「平成26年盛岡市成人のつどい実行委員会」が被災地応援募金を贈呈



平成26年「盛岡市成人のつどい実行委員会」(委員12名)は、盛岡市成人のつどい(1月12日、アイスアリーナ)の会場で被災地の復興に役立て欲しいと応援募金活動を行い、県共募に募金を贈呈しました。

実行委員会の熊谷和彦さん(岩手大学2年生)は「新成人は社会貢献への意欲があり、被災地を支援したいという手応えを感じました」と話しています。

応援募金担当者からのメッセージ

岩手県共同募金会:この8事業は、沿岸のこれからを支える大事な取組みとなります。次への一歩を皆様の力で後押ししてください。

宮古市社協:震災後、全国の皆様よりたくさんのご支援をいただきありがとうございます。これからも応援をよろしくお願いします。

大船渡市社協:市外で暮らす人たちに、ひと時でも元気になつてもらいたい。そんな想いの企画です。

陸前高田市社協:町内会が広く失われたことで、未だ震災前の地域行事を行うことができない状態です。少しでも地域行事が復活できるよう、ご協力をお願いします。

釜石市社協:避難生活者へのきめ細かな見守り体制構築には、もう少し皆様のご支援が必要です。ご協力をお願いします。

大槌町社協:ふるさとを離れざるをえなかった方々が、帰ってきたいと思える町をつくります。避難者と大槌の絆をつなぐプロジェクトにご協力をお願いします。

山田町社協:被災したお爺さん達に、元気を取り戻してもらう秘密基地「俺たちの居場所」を作る事業です。

田野畠村社協:まだまだ被災地の復興・復旧には時間がかかります。皆様のご支援をよろしくお願いします。

野田村社協:いつも野田村へのご支援ありがとうございます。仮設住宅と既存地区へ、今こそ必要なサロン活動です。

●お問い合わせ

岩手県共同募金会

盛岡市三本柳8-1-3ふれあいランド岩手内

TEL:019-637-8889

Email:iwate-kyoubo@iwate-shakyo.or.jp

<http://www.akaihane-iwate.or.jp/>